

令和4年度第2回四條畷市総合戦略協議会 会議録

日 時	令和4年12月23日(金) 10:00~11:00
場 所	市役所本館 3階 委員会室
出 席 者	石関委員(会長)、上村一彦委員(副会長)、石井委員、小西委員、中川委員、上村達也委員、中野委員、相良委員
欠 席 者	島田委員
事 務 局	木下総合政策部次長兼秘書政策課長、鈴木総合政策部副参事兼企画広報課長、藤戸企画広報課長代理兼主任
議 題	1 開会 2 議題 次第1 総合戦略(素案)について 次第2 人口ビジョン(改訂版・素案)について 次第3 今後のスケジュール 3 閉会
配布資料	資料1 第2期四條畷市総合戦略(素案) 資料2 (参考)40歳以下の社会動態(R1~R3の平均値)と展望 資料3 四條畷市人口ビジョン(改定版・素案) 資料4 スケジュール

(文中敬称略)

事 務 局	<p>1 開 会</p> <p>それでは、定刻となりました。皆様方には、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の出席委員8人、欠席委員1人でございます。四條畷市総合戦略協議会規則第3条第2項の規定に基づき、委員の過半数にご出席をいただいておりますので、会議が成立することを報告いたします。</p> <p>まず初めに、事務局側の職員を紹介させていただきます。</p> <p>本日、事情により総合政策部長の西尾が欠席しており、ご迷惑をおかけしますこと、お詫び申し上げます。</p> <p>総合政策部次長兼秘書政策課長の木下でございます。</p> <p>企画広報課課長代理の藤戸でございます。</p> <p>最後に企画広報課長の鈴木でございます。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは石関会長、よろしく願いいたします。</p>
石 関 会 長	<p>それでは、ただいまから令和4年度第2回四條畷市総合戦略協議会を開会します。事務局、本日の資料の確認をお願いします。</p>
事 務 局	<p>本日の資料については、事前に送付しております、資料1第2期四條畷市総合戦略(素案)、資料2(参考)40歳以下の社会動態(R1~R3の平均値)</p>

と展望、資料3四條畷市人口ビジョン（改定版・素案）、資料4スケジュールまた、本日机前にお配りしております、次第、座席表、委員名簿、別紙です。
資料が揃っていない方、いらっしゃいますか。（資料不足の場合は配布）それでは、以降の進行を会長にお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

2 議題

石 関 会 長

それでは、次第に沿って会議を進めます。
まず、次第1総合戦略（素案）について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局

前回10月の会議では、空き家の利活用による移住促進や地域活性化、待機児童対策、道路・交通対策、駅前整備に合わせた周辺の魅力向上、不登校の問題等、多岐にわたるご意見をいただきました。ご意見の内容は、関係部署に共有させていただいております。

総合戦略については、その後、事務局で再度の検討を行い、めざすべき将来像を設定、将来像にもとづくKGIの変更、基本目標ごとのページ（KPIの案）を作成し、その後、全庁への意見照会を実施し、内容を修正しておりますので、順に説明をさせていただきます。

資料1をご覧ください。

1ページ、総合戦略改訂の経緯の中段の下線部、国の総合戦略の動向について、「国においては令和元（2019）年12月に、第2期の「まち・ひと・しごと総合戦略」策定（その後、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2（2020）年12月に同戦略を改訂）し、令和4年度末には「デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」が策定される見通しです。」と最新の記載に更新しております。

なお、第2期の「まち・ひと・しごと総合戦略」と記載しましたが、正しくは第2期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」となります。お詫びの上、訂正いたします。

続いて3ページをご覧ください。

「（2）まち・ひと・しごと創生総合戦略（国の総合戦略）」の下、下線部について「国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）」においては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新しい地方創生の実現に向けた今後の政策の方向性として、感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出、各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進を掲げています。」と追記しております。また、全体像の表も最新のものに更新しております。

少し飛びまして、16ページをご覧ください。こちら、ページ中ほど下線部の2箇所修正がございますが、17ページの全体像を見ながらご説明いたしますので、続き17ページをご覧ください。

まず、前回の協議会で検討中としておりました「めざすべき将来像」については、「みんなで未来を育むまち 四條畷」とさせていただきました。

この案は、前回の協議会終了後に島田委員からご提案いただいた案で、「育

む」という表現には、こどもやまちを育むという意味が込められています。

事務局としまして、前回の協議会でお示した、四條畷市のまちの特性を示したブランドメッセージ「しぜんたい、しぜんたい。」のイメージに合う、わかりやすく温かみのある表現であるとともに、「未来を育む」という子育て世帯、若い世代をターゲットとした言葉であり、人がいきいきと活躍できるまちを共に作り上げるというメッセージも表現していることから、この言葉を採用いたしました。後ほど、ご意見をいただけますと幸いです。

その下、総合戦略KGIをご覧ください。前回お示した総合戦略KGIでは「子育て世代とその子ども世代の転入増・転出減、20歳代の若者世代の転出減」としていましたが、20歳代の中にも子育て世代がいることや、子育て世代としている30代の中には、子育てをしていない人もいる等、2つのKGIで世代が重なっていることもあり、「40歳以下の転入転出者数の均衡」を今後5年間のKGIに修正しました。

資料2（参考）40歳以下の社会動態（R1～R3の平均値）と展望をご覧ください。この資料では、直近3年間の40歳以下の転入者と転出者の平均を出し、その社会動態では、35人の転出超過となっています。まずは、この転出超過を5年間で0人にするのをKGIに設定し直しました。

資料1にお戻りください。その新たなKGIを達成するための基本目標として、内容を再構築しております。前回お示した基本目標では、人口ビジョンのめざすべき将来の方向に合わせ、「1 子どもを産み、育てる希望が叶うまちへ」「2 いつまでも安心して暮らせるまちへ」「3 学び、働き、住み続けたいと思える魅力的なまちへ」としておりましたが、わかりやすく覚えやすい端的な言葉で表現することとし、「ひとつづくり、まちづくり、しくみづくり」に表現を改め、分野を再構築しております。

基本目標「1 ひとつづくりには」、基本的方向として「みんなの学びが叶う環境づくりに取り組む」を設定しました。

続いて、基本目標「2 まちづくり」には、2つの基本的方向として「自然と調和した快適な住環境の整備を推進する」と「産業と地域の活性化によるまちの魅力を創出する」を設定しております。

最後に、基本目標「3 しくみづくり」には、2つの基本的方向として「安心して子育てができる環境づくりに取り組む」と「誰もが健康で暮らせる環境づくりに取り組む」を設定いたしました。

その下、横断的な視点につきましては、【DXの推進】について「マイナンバーなどのデジタル基盤の整備、デジタル人材の育成・確保、誰一人取り残されない取り組み、庁内DXなど」と国の最新の動向に合わせた表記に改めました。

続いて18ページをご覧ください。

第5章については、政策の概要、施策、事業及びKPIを記載しており、今回初めてお示しする内容でございます。

総合戦略の策定・改訂にあたりましては、国の手引きにおいて、全体像として「基本目標」「基本的方向」「具体的な施策」「事業」の順で、構成することが望ましいとされており、手引きに沿った形で構成しております。

まず、「基本目標1 ひとつづくり」の、基本的方向1として「みんなの学びが叶う環境づくりに取り組む」を設定し、子どもから大人まで、すべての人々の

個性や創造性を発揮し、夢や可能性に挑戦しながら、学び続けることができる環境づくりを推進することとしております。

施策として「教育の充実」を掲げ、関連する事業として、家庭学習の充実、英語教育の推進、教育支援センター機能の拡充、大人の学び支援を記載しております。

その下には教育の充実に関する「重要業績評価指標（KPI）」を記載しています。なお、KPIについては、毎年、4,000人の市民を対象に、市民ニーズを把握して、市政運営の基礎資料とすることを目的に実施している市民意識調査の質問項目を設定していますが、庁内での議論を重ねる中で、KPIは市民意識調査のように、回答者の主観で答えた結果よりも、客観的な指標が望ましいと考えており、全体的に修正する方向で進めさせていただくことをご承知おきください。

客観的指標が良いとする理由といたしましては、例えば、快適な道路環境の実現としたときに、市民が道路を狭いと感じるかどうかは主観的な意見で、基準が不明確ですが、道路の幅が暗渠化等により、これだけ広がったという客観的事実の方がKPIとして確実であると考えためです。しかし、客観的指標を用いることが難しい施策もあるため、その場合は市民意識調査の数値を使うという方向で進めたいと考えております。

今後、担当課と直接ヒアリングしながら、記載する事業も含めて調整してまいります。

続いて19ページをご覧ください。

「基本目標2 まちづくり」の、基本的方向1として「自然と調和した快適な住環境の整備を推進する」を設定し、身近で豊かな自然を活かしながら、子育て世代にとって魅力ある快適な住環境の実現に向けて、取組みを進めることとしております。

施策1として「住環境の改善」を掲げ、関連する事業として、安心安全な道路整備、公園整備、公共施設の再編、住宅政策の推進を記載しております。

また、施策2として「未来に向けた便利なまちの推進」を掲げ、未来技術の実装（自動運転、買い物支援、都市OS整備、未利用地の有効活用等）を記載しております。

その下には施策に関する「重要業績評価指標（KPI）」を記載しています。こちらのKPIについても、検討中ですので参考としてご覧ください。

同じく19ページの下の方をご覧ください。

「基本目標2 まちづくり」の、基本的方向2として「産業と地域の活性化によるまちの魅力を創出する」を設定し、商業、工業、農業、観光の強みを活かしつつ、異なる分野を融合していく「施策間連携」の考えを市内産業全体で育み、さらなる地域の活性化を推進することとしております（文案については、修正が入る見込みです）。

施策1として「地域経済の好循環の創出」を掲げ、関連する事業として、新規創業者の支援、事業者の経営相談等の体制整備、ほ場整備等による農業振興を記載しております。

その下には施策に関する「重要業績評価指標（KPI）」を記載しています。こちらのKPIについても、検討中ですので参考としてご覧ください。

続いて20ページをご覧ください。

「基本目標3 しくみづくり」の、基本的方向1として「安心して子育てができる環境づくりに取り組む」を設定し、妊娠・出産・子育てなど、それぞれのライフステージにおいて、切れ目のない支援を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援することで、子どもを産み、育てる希望が叶うまちづくりを推進することとしております。

施策1として「保育環境の充実」を掲げ、関連する事業として、保育所等の待機児童解消、ふれあい教室の待機児童解消を記載しております。

また、施策2として「子育てのサポート体制の強化」を掲げ、妊娠期から就学前までの子育てサポートの充実（ネウボラなわて）、子ども家庭総合支援拠点の充実、子ども医療費助成制度の拡充を記載しております。

その下には施策に関する「重要業績評価指標（KPI）」を記載しています。こちらのKPIについても、検討中ですので参考としてご覧ください。

同じく20ページの下の表をご覧ください。

「基本目標3 しくみづくり」の、基本的方向2として「誰もが健康で暮らせる環境づくりに取り組む」を設定し、住み慣れた地域において、誰もが健康で安心して、いきいきと活躍できる環境づくりに取り組むこととしております。施策1として「健康寿命の延伸」を掲げ、関連する事業として、フレイル予防と運動習慣の継続、高齢者の居場所づくりと世代間交流の推進を記載しております。

その下には施策に関する「重要業績評価指標（KPI）」を記載しています。こちらのKPIについても、検討中ですので参考としてご覧ください。

続いて21ページをご覧ください。

「第6章 戦略の推進に向けて」でございます。「1 進捗管理」についてご説明いたします。戦略については、分野横断的に組織する総合戦略等庁内検討会及び産学金労の代表者で構成する四條畷市総合戦略協議会において、広く関係者から意見が反映される仕組みを取り入れ、PDCAサイクルを推進します。また、市民の代表としての機関である議会との情報交換を適宜実施し、市民の意向などを取り込みます。なお、KPIの進捗管理については、年に1回、ホームページで公表します。

下の表は、戦略の進捗管理体制を図に表したものです。なお、KGI及びKPIとして設定した数値と実績が大きく異なる場合や、社会情勢の著しい変化があった場合は、施策、事業及びKPIを必要に応じて、適宜、見直すこととしております。

以上が、四條畷市第2期総合戦略（素案）の概要説明でございます。

本日ご意見をいただきたい点としましては、17ページに掲載しているめざすべき将来像、KGI、再構成した基本目標と事業等についてご意見をいただきたく存じます。説明は以上でございます。

石 関 会 長

ただいまの事務局からの説明につきまして、委員の皆さまからご意見、ご質問等ありませんか。

中 野 委 員

人口動態の表を見ると、15歳以下の人数が減少していることが気になる。この数字をもとに総合戦略のKGIとして40歳以下の転入転出者数の均衡を設定していると思うが、15歳以下の子どもたちを増やすために、市として

事務局	<p>どのような考えを持っていますか。</p> <p>少子化は国全体の課題でございます。兵庫県の明石市は出生率が上昇しているというが、各世帯に出産をしていただけるような施策を検討する必要があります。本市のなかで15歳以下の子どもが増えるというのは、難しいと思いますが、投資も含めて今後検討していく必要があると考えております。</p>
小西委員	<p>この計画は令和5年からのもので、3つの基本目標に沿った施策を各課が展開していくことになると思いますが、具体的な施策はこれから検討していくものなのか、或いはすでにきまっているのかということと、平成28年に策定した総合計画との関連性をどのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>2点の質問にお答えします。総合戦略の改訂にあたり、これから検討していく施策も含め、令和5年から施策を展開していきたいと考えています。</p> <p>総合計画は、長期計画であり、全てを網羅している計画でございます。一方で、総合戦略は、人口施策として、今後5年間で特に力を入れていく施策を記載していくものとして考えております。</p>
小西委員	<p>人口ビジョンを達成するためのものという認識でよいでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりでございます。</p>
相良委員	<p>17ページですが、簡潔でわかりやすい表現になり、良くなったと思います。</p> <p>快適な住環境について、田原では田んぼの後継者がいなくなり、資材置き場になったりしたり、寂しい状況になっています。市として、緑を保全していくためにどのような方向性で考えていますか。</p>
事務局	<p>本市では、少しずつ農地が減ってきています。田畑を転用するより、農地として継続して使っていただきたく、農地バンクの制度を活用するなどしてマッチングを行っています。下田原では、ほ圃場整備を進めています。この10年かけて整備をしていく予定です。このような取組みにより、外部からも参入しやすくなると考えます。また、下田原地域を契機に、他の地域にも波及していけばと考えてございます。</p>
石井委員	<p>総合戦略のKGIを変えた理由は理解できましたが、もう少しとがったものにしないと、注目が集まらず、具体的な戦略を立てにくいと思います。KGIに記載しなくてもいいのですが、特徴のある施策を戦略のどこかに入れていく必要があると思います。</p>
事務局	<p>お示しのように移住定住を促進する独自のある施策が必要と考えてございます。四條畷市がどこをめざしているのか、明確にする必要があります。そういったご意見をいただきながら18・19ページの中でしっかりと検討していきます。</p>

相良委員	<p>安心して子育てができる環境づくりについて、ふれあい教室、指導員には、お世話になっており、よくしていただきました。この場で、お話していいかは分かりませんが、先日、田原小のふれあい教室に通わせていた保護者からやめたことを聞きました。理由は、指導員の接し方に問題があり、やめてしまったと聞きました。指導員は担い手も少なく減っています。また待機児童がいる中で、やめてしまう状況は問題だと思います。</p> <p>それと、民間保育所のことですが、子どもたちに問題はなかったのですが、民間保育所の経営者、運営者の方から、問題のある発言があり、保育士、看護師の方が退職されたと聞きました。園を所管する大阪府が指導をすることになることは知っていますが、看護師、保育士に続けていただくために、市として市民としてできることはないでしょうか。</p>
事務局	<p>ふれあい、保育所の運営について、問題の解決は必要だと思います。この場で、どのようにするかを回答することは難しいですが、直接詳しくお話をお伺いすることが望ましいので、関係部署をご案内するほか、今年は終わってしまいましたが地域と市長対話会の場であったり、市長への意見箱などの方法で意見をいただくことも可能ですので、当事者に伝えていただけたらと思います。</p>
上村委員	<p>17ページの、産業と地域の活性化のところの文章のイメージがわかりにくいです。異なる分野を融合していくという意味は、具体的にどのようなものでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的にこういうことかというのは、説明が難しいですが、本市は地域のつながりが濃い街、という特性があるので、あらゆる分野が連携することで、新しいものを作り出せるというイメージです。実務的に担当部署がくつつくという話ではございません。</p>
中川委員	<p>めざすべき将来像について、令和9年をゴールで、この姿になることを目標にしている。その数値がKGIで、40歳以下の転入転出を0にする。その認識でよいでしょうか。</p>
事務局	<p>総合戦略は人口ビジョンの将来展望をめざすためのものであり、今後5年間の目標としてKGIを設定しています。それを達成したから、ゴールということではないですが、成果を図るための一つの指標と考えています。</p>
中川委員	<p>DXの推進について、マイナンバーの取得率はどれくらい進んでいますか。また市内DXは進んでいるか。ベンダーを入れて取り組んでいくということでしょうか。</p>
事務局	<p>マイナンバーの取得率について、正確な数値は把握しておりませんが、私が聞いた直近の情報では、申請率で61～63%程度と記憶しています。</p> <p>市内DXについては、今年度にDX推進計画を策定して、全庁的にデジタル化を進めていく方針でございます。今後予算をたてて、取り組みを進めていくこととなります。</p>

上村副会長	<p>産業の活性化について、四條畷はずっと住むと良いところだと実感できる。残念なことに、産業は脆弱。ここが解消できず、ここまできている。このあたりで方向転換してほしい。商工会としても、市と方向性を合わせて、一緒に取り組んでいきたい。17ページに掲載している文章はわかりにくい。個々の取組みを記載するというのではないと思うが、力強い連携をもってすすめていきたいのでよろしく願いしたい。</p>
事務局	<p>本市ではこれまで財政再建に取り組み、一定健全化され、予算編成の中で、投資に向けて方向転換を考えています。今後、検討を進めていきたいと考えております。</p>
石関会長	<p>他に意見はありませんか。他に無いようですので、本件についてはこれで終了とさせていただきます。 本日いただいたご意見の反映について、次回会議までに事務局で調整いただくということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。本日、いただいたご意見やご提案も含めて持ち帰り、改めて、庁内で検討したうえで、見直しを図ってまいります。その辺りの調整及び文面の修正等につきましては、事務局に一任いただいてもよろしいでしょうか。</p>
石関会長	<p>よろしく申し上げます。 続いて、次第2人口ビジョン（改訂版・素案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料3をご覧ください。人口ビジョン（改訂版・素案）につきましては、前回の会議でお示し後、特段の修正は行っておりません。事務局といたしましては、総合戦略とともに、年度内策定に向けて、この内容で原案としてとりまとめ、2月号広報及びホームページで意見公募手続き（パブリックコメント）を実施したいと考えています。 前日もご説明いたしましたが、最終確認として方向性と展望を端的に再度ご説明させていただきます。 25ページをご覧ください。第4章めざすべき将来の方向として、1つめに、自然減の傾向が続いていること、出生率は減少していることを踏まえ、（1）自然減の抑制を設定し、めざすべき将来の方向として、「子どもを産み、育てる希望が叶うまちへ」を設定しております。 2つめに、社会減の状況が続いており、特に20～24歳の転出超過が著しい傾向にあることから、（2）転出の抑制を設定し、めざすべき将来の方向として、「いつまでも安心して暮らせるまちへ」を設定しております。 最後に、0～4歳や30～34歳は転入超過となっていることから、（3）転入の促進を設定し、めざすべき将来の方向として、「学び、働き、住み続けたいと思える魅力的なまちへ」を設定しております。 26ページをご覧ください。第5章人口の将来展望でございます。第4章で設定しためざすべき将来の方向を踏まえ、本市が今後実現したい人口動態の将</p>

	<p>来展望についてお示ししております。</p> <p>本市の人口は平成22年の57,554人でピークを迎え、社人研推計では、令和32年には36,900人になる予測されています。これに対し、本市では、令和32年(2050年)時点で、「人口規模 45,000人程度、生産年齢人口比率 概ね50%以上」をめざしたいと考えております。</p> <p>この将来展望を達成するために、合計特殊出生率は令和12年までに1.68、令和22年までに1.93をめざしてまいります。</p> <p>また、社会動態に関しては、令和12年から令和32年までの各年において、子育て世代とその子ども世代の転入増・転出減、20歳代の若者の転出減、それ以外の世代の転入出の均衡をめざしてまいります。</p> <p>総合戦略との関係性としましては、人口ビジョンが令和32(2050)年の長期展望であり、その大きな長期目標に向かって、直近の5年間で本市がめざす具体的な取組みの方向性として総合戦略を策定するものでございます。</p> <p>人口ビジョンの将来展望はとてハードルの高い設定ではございますが、その目標に向かって着実に取組みを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>人口ビジョンの説明は以上でございます。</p>
石 関 会 長	<p>ただいまの事務局からの説明につきまして、委員の皆さまからご意見、ご質問等ありませんか。</p>
小 西 委 員	<p>将来展望に掲げている合計特殊出生率は、かなり希望的観測の数値だと思います。2021年の国の数値は1.3いくかいかないか。少子化は、晩婚化や、意識、未婚化、価値観の変容、晩婚化、経済的不安要素等これらが要因していると思います。人口規模が大きくなること想定して、税収増を見込んで、歳出をくむと、財政の悪化要因になにもなるので、慎重に考えるべきだと思います。</p>
事 務 局	<p>出生率の設定については、庁内でも議論がありました。出生率の展望は本当に実現できるかと言うと非常に厳しく、現実在即した数値に合わすべきという意見も出ましたが、最終的に大阪府の予想数値を引用しています。大阪府の目指しているところに合わせて、本市も取組みを進めるという方針となりました。高い目標ですが、そこをめざしていくことにしています。</p>
小 西	<p>高い目標をめざすこと自体は悪いことではないが、先ほど委員から意見もあったように、これを達成するにはとがった施策が必要で、総合戦略に反映していく必要があると思います。</p>
事 務 局	<p>委員お示しのとおりであり、総合戦略の内容については、庁内で検討してまいります。</p>
石 関 会 長	<p>独自推計によると45,000人とあり、社人研推計より8,000人多いが、この根拠はどう設定していますか。</p> <p>また、これまでに実施した施策の効果をもとにしてるのか、それともこれから新たにやっていくものとしての展望なのでしょうか。</p>

事務局	<p>27ページに根拠をのせており、本市が施策をするという前提のもと45000人の数値を設定しています。</p> <p>市としてこのまま何も施策をうっていかないと、社人研推計の人数まで減少してしまうため、人口ビジョンはこれからの展望として施策を掲げています。</p>
石関会長	<p>他に意見はありませんか。無いようですので、本日いただいたご意見の反映について、事務局に調整を一任し、原案としてとりまとめ、2月号広報誌及びホームページ等でパブリックコメントを実施することについてご異議はございませんか。</p>
石関会長	<p>異議がないようですので、事務局よろしくお願いします。</p> <p>続いて、次第3 今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4 スケジュールをご覧ください。</p> <p>まず、総合戦略につきましては、今後、ご意見を踏まえて素案の最終調整を行います。1月下旬に協議会を開催させていただき、原案としてとりまとめを行い、人口ビジョン（改訂版）とともに、2月号広報及びホームページ等で意見公募手続き（パブリックコメント）を実施いたします。意見公募手続きが終了する3月中旬以降に、協議会を開催させていただき、3月末には四條畷市第2期総合戦略及び人口ビジョン（改訂版）を策定してまいります。</p> <p>非常にタイトなスケジュールとなっております、委員の皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、会議への出席にご協力をよろしくお願いします。なお、机上配布させていただきました別紙にて、1月下旬に開催する協議会の候補日をお示しさせていただきましたので、来週、12月27日（火）までに、メールまたは電話にてご都合をお知らせください。本日、予定がわかる方は、この後事務局に直接お知らせください。説明は以上でございます。</p>
石関会長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見等ありませんか。</p>
	<p>3 閉 会</p>
石関会長	<p>特にないようですので、ただいまを持ちまして、令和4年度第2回四條畷市総合戦略協議会を閉会します。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>